

目次

【巻頭言】	
新たな価値に基づいた史資料の保存・活用	金子 光一 (6)
【特集 日本の戦後史(3) 日本の福祉専門職の到達点と今後の課題 —専門職を取り巻く構造の変化を踏まえて—】	
社会福祉専門職における「資格」と「機能」の両立とジレンマ —福祉の専門性を真に生かすために—	小山 聡子 (11)
「精神保健福祉」通史研究の展開—ソーシャルワーク回帰と職種・資格を 超えた役割開放、そして「社会福祉」通史への射程—	大西 次郎 (31)
専門職としての「保育士制度」の課題—社会福祉と教育の総合的専門性の確立—	松本 園子 (53)
1970年代から1990年代における労働者雇用とソーシャルワーカーの一側面 —福祉労働者論及び福祉専門職論より—	佐藤 昭洋 (73)
【投稿論文】	
被占領期の保育所政策における季節保育所の法制度からの除外 —戦前から戦後への除外の連続—	佐藤 光市 (93)
浦和監獄川越分監における出獄人保護事業の展開と 知的障害のある少年受刑者への保護の取り組み	末松 恵 (111)
静岡県における農村隣保事業と報徳思想—浜名郡新居町隣保協会と渡邊鑑吉—	畠中 耕 (129)
【調査報告】	
日中戦争下、中国における日本軍占領地社会事業に関する基本的考察 —華北・華中を中心に—	小笠原 強 (145)
罹災救助金と結社—1895年水害における滋賀県伊香郡杉野村の事例から—	大月 英雄 (161)
生江孝之の第2回外遊—田園都市とグラスゴー—	荻原 園子 (171)
【史料紹介】	
「福原女学校」関連史料の紹介—『神戸又新日報』等の新聞記事を中心に—	小笠原 慶彰 (189)
【書評】	
杉山博昭『社会福祉実践における根源の探求—近代における歴史的展開を通して—』 (時潮社、2024年1月)	藤井 渉 (205)

岡典子『沈黙の勇者たち—ユダヤ人を救ったドイツ市民の戦い—』 (新潮社、2023年5月)	北村 陽子 (212)
今井小の実『福祉国家の源流をたどる—Her/His Storyを超えて—』 (関西学院大学出版会、2023年3月)	西崎 緑 (218)
【文献紹介】	
室田保夫・倉持史朗・今井小の実・蜂谷俊隆・高岡裕之編 『大阪児童福祉の先駆 博愛社の史的研究』(六花出版、2023年3月)	小笠原 慶彰 (223)

『社会事業史研究』投稿規程・執筆要項・倫理指針	(224)
社会事業史学会事務局報告(2023年10月～2024年9月)	(230)